

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

2017年10月発行

第53号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>



整形外科

整形外科は頭部以外の運動器（骨・関節・筋肉・神経）に関わる疾患を扱う非常に幅広い分野です。専門領域としては脊椎脊髄・肩関節・手・股関節・膝関節・足・スポーツ・関節リウマチ・小児・腫瘍・外傷など、こちらも大変多くの領域に細分化されています。さらに最近重視されているリハビリテーションにおいても中心的な役割を担う必要があります。

整形外科の患者さんの症状として最も多いものは、何といても「痛み」です。実際の診療の現場では、外傷に伴う外因性の疼痛と、変形性関節症や肩関節周囲炎、慢性腰痛、坐骨神経痛などに伴う内因性の疼痛があります。外科系として分類される整形外科ですが、圧倒的に後者の疼痛を訴える患者さんの方が多く、場合によっては原因を探るために精査を進めるなどむしろ内科的な側面もあります。ほかの分野に目を向けると、脳、循環器、消化器、呼吸器など共通の臓器を内科系と外科系に分けて対応することが多いように思いますが、整形外科のように広い分野で内因性・外因性の疾患を一つの科で対応することは大変で、不思議な状況ですが、やりがいも感じます。

さて、当院は地域に根ざした基幹病院としての役割を目指しており、当科では専門的な疾患のみ重点的に診療するのではなく、一般的な患者さんが誰しもよく経験する各種骨折、変形性関節症、腰痛などに対して幅広く対応しています。まず考慮すべきは保存的治療ですが、骨折や末期の変形性関節症などでADL（日常生活動作）が大幅に低下している状況では、手術も検討しておすすめします。特に昨今では高齢者の患者さんが激増しており、寝たきりの原因となりやすい大腿骨頸部・転子部骨折については、当院麻酔科とも協力し、90歳以上の患者さんでも手術を行うことが多くなってきています。

当科では10月から3人の常勤医で診療を担当します。全員が整形外科専門医の資格を有しており、ほとんどの疾患の初期治療を問題なく実施することができます。脊椎脊髄疾患や腫瘍、小児、スポーツなどの分野では、患者さんの希望も聞いて、より専門性の高い病院をご紹介しますこともあります。一般外来診療、入院治療、手術、救急医療、リハビリテーションに加え、当院で平成28年から運営している地域包括ケア病棟に対して中心的に携わる必要もあり、忙しい毎日を送っています。10月からは、水曜日は手術日として、外来を原則休診とさせていただきますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

整形外科部長代理 久保田迅是

近隣医療機関のご紹介

吉野医院

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町1丁目9-1 TEL 078-596-2629

診療科目：
脳神経外科
神経内科
リハビリテーション科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	×
16:00~18:30	●	×	●	×	●	×	×



吉野 英二 先生

平成8年から15年まで社会保険神戸中央病院脳神経外科部長として勤めさせていただきました後、鈴蘭台に脳神経外科、神経内科、リハビリテーション科の医院を開設しました。

脳卒中、神経難病などで身体が不自由になられた多くの患者さんの診療を行ってきた経験から患者さんの病後の長い人生を支える必要性を痛感していました。そのため外来診療、訪問診療、往診のみならず患者さんの状態に応じて、医院で行うリハビリテーションを通所リハビリで、ご自宅にお伺いしてのリハビリを訪問リハビリで行わせて



いただくことにしました。また増加する認知症に対して認知症専門外来も行っています。

当院の使命は、患者さんご家族の在宅生活を支え、住み慣れた地域で皆さまに明るく笑顔で過ごしていただけるお手伝いをすることと思っています。

当院が、少しでも地域の皆さまのお役に立てるような身近なクリニックであるように、これからもスタッフ一同精進し地域社会に貢献してまいりますので、なにとぞよろしくお願いいたします。

独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 神戸中央病院 第12回 市民医療セミナー

入場無料
(申し込み不要)

眼と歯の健康をたもつには — 知っておくべき眼の疾患(白内障、緑内障) お口と健康長寿のお話 —

日時：平成29年12月2日(土) 13:00開演 ●簡易視力検査、相談コーナー(2階ロビー) 12:00~
●噛むちからチェック(受付で検査用ガムを配布し講演内で検査) 14:05~
会場：すずらんホール(神戸市北区鈴蘭台西町1丁目26-1)

プログラム：講演会2階「大ホール」

第1部 市民医療セミナー

- 13:00 開会の挨拶 病院長 大友 敏行
- 13:10 「白内障と緑内障の最新の診断治療」 眼科部長 細谷比左志
- 14:05 「早めて知っておきたいオーラルフレイルって何？」 歯科口腔外科医長 松本 耕祐
- 14:45 閉会の挨拶 副院長・地域医療推進部長 松本 圭吾

相談コーナー 2階ロビー 12:00~

12時以降の講演時間帯以外で受け付けています。
歯科衛生士・作業療法士・薬剤師・看護師・管理栄養士・医療福祉相談員

第2部 医療・介護セミナー

テーマ 「在宅医療はここまでできる」

- 15:15 「医師の立場から」 しんじょう医院 院長 新城 拓也
- 15:55 「訪問看護師の立場から」 JCHO神戸中央病院附属訪問看護ステーション 所長 内垣 靖子
- 16:15 質疑応答
- 16:20 情報提供「家庭内での事故防止」 神戸市北消防署 救急係長 消防司令 花山 昇

相談コーナー 2階ロビー 講演後

作業療法士・薬剤師・看護師・管理栄養士・医療福祉相談員

70歳以上の方

(平成29年8月診療分から)

高額療養費の上限金額が変わりました。

平成29年8月診療分より、現役並み所得者の外来（個人ごと）、一般所得者の外来（個人ごと）及び外来・入院（世帯）の自己負担限度額が引き上げられました。

高額療養費とは

ひと月に支払う医療費が高額になった場合に、お支払いいただく額を、決められた上限額までにとどめる制度です。上限額は、個人もしくは世帯の所得に応じて決まっています。

適用区分		平成29年7月31日まで		平成29年8月1日から	
		外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯ごと)
現役並み	標準報酬月額 28万円以上の方	44,400円	80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% (多数回: 44,400円 ^{※3})	57,600円	80,100円 + (医療費-267,000円) × 1% (多数回: 44,400円 ^{※3})
	課税所得 145万円以上の方				
一般	標準報酬月額 26万円以下の方	12,000円	44,400円	14,000円 (年間上限 144,000円)	57,600円 (多数回: 44,400円) ^{※3}
	課税所得 145万円未満の方 ^{※2}				
住民税非課税	Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円	8,000円	24,600円
	Ⅰ 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円		15,000円

- ※1 平成30年7月まで。平成30年8月以降は、上限額がさらに変わります。
- ※2 世帯収入の合計額が520万円未満（1人世帯の場合は383万円未満）の場合や、「旧ただし書所得」の合計額が210万円以下の場合も含まれます。
- ※3 過去12ヶ月以内に3回以上、上限額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、上限額が下がります。
- ※4 医療機関や薬局で負担した額について、合算して上限額以上になった場合は、後から払い戻されます。

ご不明な点は、ご加入の保険者までお問い合わせください。

新任医師 紹介



おおishi たかし
大石 崇史
：消化器内科

8月より赴任させて頂きました。丁寧な内視鏡検査と診察を心掛けています。どうぞ宜しくお願いいたします。



まつもと こうすけ
松本 耕祐
：歯科口腔外科

9月より赴任致しました。地域の皆様のお役に立てるよう柔軟に対応させていただきます。よろしくお願いいたします。



たなくら マキコ
棚倉万紀子
：歯科口腔外科

10月より赴任させて頂きました。歯科医師として地域に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。



くわやま かずゆき
桑山 一行
：脳神経外科

香川より赴任しました。地域に溶け込み楽しく診療していきたいと考えています。



かたやま たかゆき
片山 貴之
：消化器内科

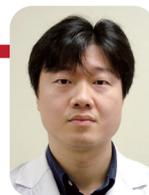
10月から勤務させて頂くことになりました。皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

退任医師のお知らせ

整形外科：柴谷 匡彦
総合内科：池上 直矢
耳鼻いんこう科：二之湯 弦

歯科口腔外科：國富 照子
歯科口腔外科：小松原秀紀

病理部：三宅 俊彦
皮膚科：田嶋 佐妃



劇症1型糖尿病

日本人1型糖尿病はその発症・進展様式により劇症1型糖尿病、急性発症1型糖尿病、緩徐進行1型糖尿病に分類されます。その中でも劇症1型糖尿病は急激な発症、進展を特徴とし見落としや治療開始の遅れが患者の死につながる救急疾患でもあります。どれくらい急な変化かと申しますと先週の健診結果が正常血糖で問題のなかった人が翌週にはケトアシドーシスになるくらい急な変化です。症状出現からケトアシドーシス(インスリン依存状態)になるまで多くは1週間以内ということになります。発症初期の症状としては口渇が一番多く感冒様症状、発熱、咽頭痛、腹部症状の嘔気や腹痛があります。一見すると風邪か胃腸炎のような症状で来院しますので注意が必要です。血糖値やHbA1cを測定しますと、急激に高血糖状態になったことを反映し著しい高血糖にも関わらずHbA1cは6%台や7%台という結果になることが多いです。

劇症1型糖尿病は急性にケトアシドーシスで発症する1型糖尿病のおよそ20%を占めます。日本では5000-7000人の患者が存在し男女比はほぼ1:1発症平均年齢は39歳です。自身の経験でも劇症1型糖尿病は2例と緩徐進行1型糖尿病や急性発症1型糖尿病に比べるととても少数です。

劇症1型糖尿病は診断時ケトアシドーシスとなっていることが多いため初期治療は大量の輸液、インスリンの持続静脈内投与を行います。高血糖高浸透圧症候群とは異なり、治療が適切な時期に開始されると予後は良好なことが多いです。

最近では抗PD-1抗体薬投与後に劇症1型糖尿病を発症するケースがみられ注意が必要です。

劇症1型糖尿病スクリーニング基準(2004)

(下記の基準を満たす場合は入院の上精査が必要)

- 糖尿病症状発現後1週間前後以内でケトアシドーシスあるいはケトアシドーシスに陥る。
- 初診時の(随時)血糖値が288mg/dl(16.0mmol/l)以上である。

劇症1型糖尿病診断基準(2012)

下記1~3のすべての項目を満たすものを劇症1型糖尿病と診断する。

- 1.糖尿病症状発現後1週間前後以内でケトアシドーシスあるいはケトアシドーシスに陥る(初診時尿ケトン体陽性、血中ケトン体上昇のいずれかを認める。)
- 2.初診時の(随時)血糖値が288mg/dl(16.0mmol/l)以上であり、かつHbA1c値(NGSP)<8.7%*である。
- 3.発症時の尿中Cペプチド<10μg/day、または、空腹時血清Cペプチド<0.3ng/mlかつグルカゴン負荷後(または食後2時間)血清Cペプチド<0.5ng/mlである。

*: 劇症1型糖尿病発症前に耐糖能異常が存在した場合は、必ずしもこの数字は該当しない。

参考所見

- A) 原則としてGAD抗体などの膵島関連自己抗体は陰性である。
- B) ケトアシドーシスと診断されるまで原則として1週間以内であるが、1~2週間の症例も存在する。
- C) 約98%の症例で発症時に何らかの血中膵外分泌酵素(アミラーゼ、リパーゼ、エラスターゼ1など)が上昇している。
- D) 約70%の症例で前駆症状として上気道炎症状(発熱、咽頭痛など)、消化器症状(上腹部痛、悪心・嘔吐など)を認める。
- E) 妊娠に関連して発症することがある。

「神戸市北区医師会・JCHO神戸中央病院 医療連携セミナー」のご案内

第7回セミナー 「脳神経外科」と「神経内科」の診療の現在 in JCHO 神戸中央病院

日時 平成29年10月26日(木) 19時~20時15分 場所 当院 2階会議室

特別セミナー “ここまでできる内視鏡外科” in JCHO 神戸中央病院

耳鼻いんこう科、外科、脳神経外科医師による講演

日時 平成29年11月16日(木) 19時~20時20分 場所 当院 2階会議室



特別講師による講演予定

(平成29年10月から12月)

場所:当院2階会議室にて

日時	講演内容	講師
10月18日(水) 17時30分~	2017年輸血研修会 『血液製剤使用指針の改定について』	兵庫県赤十字血液センター 学術課 西村 千恵 先生
12月7日(木) 18時00分~	第1回 神戸市北区RA連携会	神戸大学大学院研究科 内科学講座 免疫内科学部門 永本 匠 先生 上田 洋 先生